

標 題	中山間地域における畦畔管理省力化技術の効果 ～あざばら営農組合での省力畦畔管理の取り組み～
------------	--

(ダイジェスト)

出雲市佐田町にあるあざばら営農組合では、畦畔管理の省力化を目的に、平成26年より、畦畔にセンチピードグラスの吹き付けを行っています。

吹き付けを行った結果、畦畔の除草作業が、通常年3から4回行っていた作業が、1回の高刈り作業で済むこととなり、作業の省力化が図れました。また、営農組合内での波及効果もあり、平成30年には、16,000㎡の吹き付けを実施しました。

水田経営において、畦畔管理の省力化・コスト削減は大きな課題であり、これまで、各地域でセンチピードグラス等の畦畔被覆資材を移植する試みがなされてきました。しかし、移植には多大な労力を要する他、畦畔を覆い尽くすまでに数年を要し、その間に雑草に負けてしまい、定着に至らなかったケースがほとんどでした。

そこで、早期の畦畔被覆が期待できるセンチピードグラスの吹きつけ工法を導入し、出雲市佐田町にあるあざばら営農組合で実証を行いました。

畦畔へのセンチピードグラス吹きつけは、平成26年度1,700㎡(種子量10g/㎡)、平成27年度1,900㎡(種子量7g/㎡)、平成28年度1,700㎡(種子量6g/㎡)及び平成29年度7,390㎡(6g/㎡)で行いました。

吹き付けを実施した結果、吹き付け後2週間程度で発芽し、1年間で畦畔を覆う状況となり、次年度より、年3から4回の除草作業を実施していたものが1回の高刈り作業で済むこととなり、除草作業の軽減が図れました。また、播種量については、6g/㎡で畦畔を被覆する効果があることが認められました。

このことから、毎年度吹き付け面積が増加し、平成30年度には、16,000㎡の吹き付けを実施しました。

また、本取り組みを実施することにより、同町内で、他地域も取り組みを実施することとなりました。

当普及部としては、この取り組みを関係機関と連携して支援するとともに、他地区での実施に向けた支援をしていくことにしています。

